

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念に基づき、ご利用者第一に考え、業務出来ている。			継続して実践していく
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ緩和以降も、地域との交流はまだまだ出来ていない。	地域の方々とのふれあいの場、学区の元気サロン等への参加をしていく。		少しずつ地域への取り組み、関りを深めていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議内で、しっかりと取り組み、報告が出来ている。	2カ月に1度の会議で、取り組みや報告を受けるのでとても良い機会になっている。		継続して会議内で報告共有し、より良いサービスに繋がるように取り組んでいく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わる機会が少なく、協力関係が築けていない。	地域住民や行政機関を巻き込んでいき、開かれた施設の運営をお願いします。		地域との関わりを今後少しずつ増やしていく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修、カンファレンスを通し、実施できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	継続して取り組んでいく
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修、カンファレンスを通し、虐待防止に繋がっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	継続して取り組んでいく
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんど機会がないのが現状。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約、解約時に、十分な時間を使い、説明実施出来ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の近況連絡や、お手紙などで、関係性を築き、反映できている。また面会時に意見等を募る		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	継続していく
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや、日々の申し送り等で、意見を聞き、反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面談を行い、職員毎の意見を聞き、向上心、やりがいに繋がるよう努めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の能力に合わせ、また普段から話す機会を持つよう取り組む
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や、面談を通し、個々の力量の把握、業務中の技術向上など、多岐に実践出来ている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実践を元に、能力向上、研修を通して知識得よう取り組む。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務改善会議参加にて、他施設の取り組みなど意見を聞き、反映させている。			質向上に繋がるよう継続していく
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の、疑似家族のように、普段から共に生活する事を考え、ケアを深めている。			共に暮らしていく関係、心地よいケアが出来るように行っていく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会、また近隣の散歩、下車無しのドライブで実家や馴染みの場所を通り、支援出来ている。	外出する機会をしっかりと確保できている。人や場所の繋がりを感じられ安心している。		より馴染みのある場所や人との関りを増やしていく。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ、ご本人の思いを聞くよう努めている。職員主導にならないよう、取り組んでいる。			思いをしっかりとくみ取っていく
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で意見を出し合い、またご家族、関係先の意見を踏まえ、計画作成出来ている	沢山の人の意見でより望ましい介護計画になっていくため、話し合いを継続していく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の意見もしっかりと取り入れ、計画に反映させていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別にしっかりと記録し、また日々の申し送りで、情報共有出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から記録、しっかりと情報共有する
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今の思いに寄り添えるようにしっかりと取り組む	少しでも、ご本人の思いに沿えるように、取り組みを続けていただきたい。		職員主導ではなく、ご利用者のニーズに出来るだけ合わせる
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	より良い暮らしが出来るように、地域との関わりをより目指す。	工夫を重ね、地域との繋がりを作っていると思います。		一人一人の力をしっかりと把握する。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の希望もしっかりと踏まえ、医療との連携が図れている。定期受診時や緊急時もしっかりと受診連携出来ている。			適切に医療と連携し、しっかりとした関係を築く
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談員と密に相談し、また状態確認、早期退院に繋がるように連携を図れている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	継続して、状態把握に努め、早期退院に向けて連例に努める。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている B. ほぼできている	入居時に各ご利用者家族の意向を聞き、また状態に応じて、主		A. 充分にできている B. ほぼできている	適切な話あい、連携を深めていく

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	治医と相談の元、終末期について共有出来ている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時、事故時の対応はマニュアル通り対応出来るよう、連携しているが、迅速な対応が出来るよう取り組む。			継続して急変時の対応を医療と連携共有し、対応していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防訓練を通し、職員を変え、定期的にシュミレーション出来ている。	万が一に備えて、日頃から意識を持ち、体制を整え、また備蓄品等しっかりと確認を	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の緊急避難場所、安全な場所をしっかりと把握し、今後の防災意識に繋げていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮し、丁寧な関わりを忘れずに行う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けを工夫し、対応する思いを込めたケアを心掛ける
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接、ご利用者と話すことで、希望や思いをくみとり、支援に繋げていく。			職員主導にならず、自立支援をもとに関わりを深める
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しんで行う事を、職員も意識し一緒にを行うことを徹底していく。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共に一緒に行い、楽しみ、好みが共有できるように関わる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医、言語聴覚士の指示の元、過度な介助にならないように状態に応じて対応する			必要以上の介助をせず、その人に合った対応を心掛ける。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科の指示やアドバイスも踏まえ、毎食後口腔ケア出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科のアドバイスの元、食後の口腔ケアをしっかりと行う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合ったケア、しっかりと関わりを持つ中で、個々に応じたケアを常に見直せている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援の観点を常に意識し、必要以上の介助をしない、その人の力をしっかりと発揮できるようにケアしていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中に入ることが多く、やや職員都合になっている。			必要以上のケアを行わず、個々の出来ることをしっかりと行う。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の休息の時間、また安心出来る環境作りを行い、生活しやすいように関わり続ける。			個々に合した環境作りを大切に、安息できる時間を作る。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の効用、量など常に医療と連携し、支援している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	しっかりとマニュアル通りにケアを行い、状態変化時にも連携を取り続ける。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から話題の提供、レクリエーションを通し、楽しく、また気分転換が図れるよう支援している。	一人一人の好みを把握し、役割を考えていきケアに繋げていくことが重要。		気分転換を図れるよう考案する
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の散歩、買い物は出来ているが、今後の緩和後の外出希望など支援を続ける	限られた外出機会の中で、その人の希望に沿ったケアを継続して行う必要がある。		来年度以降、個別外出を計画しその人の希望に沿った、また馴染みのある場所へ外出できるようにしていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物時に、会計を共に行い、お金の使用しその人の力を発揮していく。			お金の大切さ、所持し使用するまで関われるように継続していく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿ったやり取りを行っていく。			携帯所有者も増えているが、ご家族とも相談の元、その人の希望に沿ったやり取りを支えていく。

39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の飾りつけ、また空間内を清潔に保つことで、心地よい空間作りが出来ている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活感ある空間の中で快適に過ごせるように工夫を重ねていく。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションの中で、思いをくみ取っている。			その人の思い、願いをくみ取り暮らしの中で実現できるようにしていく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	習慣的に行っていた事、また趣味で行っていた事も出来るだけ実現できるようにケアを行う。			その日知に沿ったケア、生活が実現できるように工夫する。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に医療と連携できる体制を築き、状態把握に努めケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態変化、また体調管理に努め、不安のないように医療と連携を図る。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り、ご本人のペースに合わせ、生活してもらっている。			一人一人のペースに合わせ取り組む。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物などを、自室へ持ち込み、生活してもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物で落ち着き、安心出来るように引き続き取り組んでいく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物、散歩しか出来ていないが、外出の機会を持てている。	地域の催事に積極的に参加できるようにする。		雲煙推進会議内で、地域の催事等を共有し、参加できるように調整していく。

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人に合ったケア、出来るかもの視点で常に関わりを深める。			共に考え、その人に合った役割や楽しみを見つける
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者と共に会話の輪に入り、また活動できる場面を見つけ、ともに行う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしを共に行う中で、役割や出番と一緒にやっていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のスーパーや郵便局、地域との関わりを少しずつ持てている。	少しずつ地域との関りを取り戻せるように、交流の場を持っていく。		地域密着型サービスとしても交流の場をしっかりと持ち続ける。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との良好な関係作り、また安心して過ごせるような環境作りに取り組んでいる。	良い関係性の中で、楽しい日々の居場所であり続ける事が大切。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームの職員とも良好な関係を築き、安心した日々が送れるようにケアを行っていく。